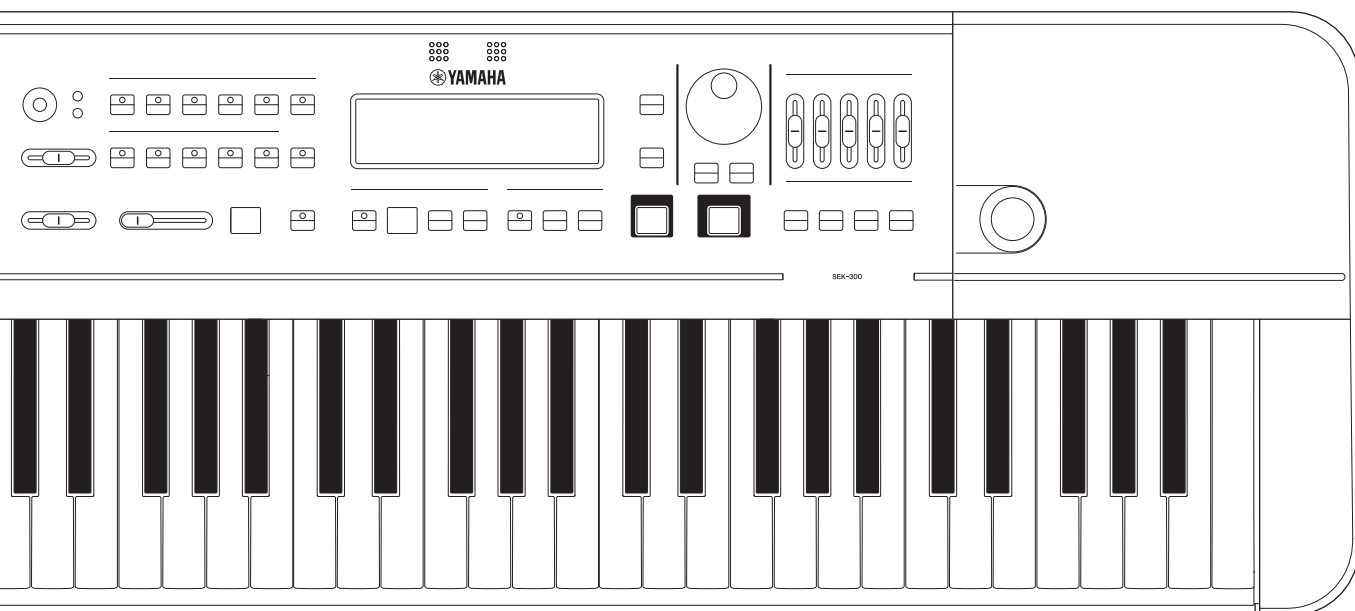


電子キーボード

SEK-300

取扱説明書



ごあいさつ

このたびは、ヤマハ電子キーボードSEK-300をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

SEK-300は、様々な音色での演奏・リズムの提示・演奏の録音など、音楽の授業に必要な機能を1台に盛り込んだ、学校指導用キーボードです。子どもたちの音楽への感性を育もうとされる先生方が、少ない時間の中でも、そのような音楽授業をできることを願って開発しました。

本製品に搭載された機能を十分ご理解、ご活用いただくため、本書をよくお読みになってからご使用ください。また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管していただきますようお願いいたします。

付属品(お確かめください)

- 取扱説明書(本書) × 1
- クイックガイド × 1
- 電源アダプター × 1
- 製品登録のご案内 × 1

取扱説明書について

本製品には、以下の説明書が用意されています。



取扱説明書(本書)

SEK-300の使用方法について説明しています。



クイックガイド

主な機能の使い方を、一目で分かるように説明しています。

これらは、下記ウェブサイトの「取扱説明書」のページからもご覧いただけます。

サポート・お問い合わせ

<https://jp.yamaha.com/support/>

目次

| | |
|--------------------|---|
| ごあいさつ..... | 2 |
| 付属品(お確かめください)..... | 2 |
| 取扱説明書について..... | 2 |
| 安全上のご注意..... | 4 |
| ご使用上の注意..... | 8 |

各部の名称 10

| | |
|--------------|----|
| フロントパネル..... | 10 |
| リアパネル..... | 12 |

ご使用前の準備 13

| | |
|-----------------------------|----|
| 電源の準備..... | 13 |
| 電源を入れる/切る..... | 14 |
| 音量、マイク感度、画面コントラストを調節する..... | 16 |

画面の見かたと基本操作 17

| | |
|------------|----|
| ホーム画面..... | 17 |
|------------|----|

音色を選ぶ 18

| | |
|-----------|----|
| 音色一覧..... | 18 |
|-----------|----|

内蔵曲を再生する 21

| | |
|---------------------|----|
| 内蔵曲を再生する..... | 21 |
| 内蔵曲のパート音量を調節する..... | 21 |
| 内蔵曲に合わせて鍵盤を弾く..... | 21 |

主なジャンルのリズムパターンやメトロノームを鳴らす 22

| | |
|--------------------------------------|----|
| 主なジャンルのリズムパターンを鳴らす (リズムスタイル)..... | 22 |
| メトロノームを鳴らす..... | 22 |

マイクを使って録音・再生する 24

| | |
|--|----|
| 基本の使い方..... | 24 |
| マイク感度の調整..... | 24 |
| 録音/再生..... | 25 |
| 過去の録音ファイルや、コンピューターで作成した ファイルの再生(USB)..... | 27 |

工場出荷時の設定に戻す 28

各種詳細設定をする(設定) 28

外部機器を接続する 29

| | |
|---|----|
| ペダルを使う([FOOT PEDAL]端子)..... | 29 |
| 別売のアンプなどを接続する (OUTPUT [L/MONO]、[R]端子)..... | 29 |
| 別売のマイクを接続する (MIC [INPUT]端子、MIC [GAIN]ノブ)..... | 30 |
| USBフラッシュメモリーを接続する (USB [TO DEVICE]端子)..... | 30 |
| コンピューターと接続する (USB [TO HOST]端子)..... | 30 |
| スマートデバイス上で再生するオーディオを SEK-300で鳴らす(Bluetooth)..... | 32 |

資料 33

| | |
|--------------------------|----|
| エラーメッセージについて..... | 33 |
| 故障かな?と思ったら..... | 34 |
| 仕様..... | 35 |
| データリスト..... | 36 |
| MIDIインプリメンテーションチャート..... | 37 |
| 保証とアフターサービス..... | 38 |
| 保証書..... | 39 |

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。



注意喚起を示す記号



禁止を示す記号



行為を指示する記号

■ 「警告」「注意」「ご注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



「傷害を負う可能性が想定される」内容です。



「故障、損傷や誤動作、データの損失の発生が想定される」内容です。

警告

電源 / 電源アダプター



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源は必ず交流100Vを使用する。

エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源アダプターは、必ず指定のもの（35ページ）を使用する。

異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。



禁止

雷が鳴っているときは、本製品や電源プラグに触らない。

感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む。

差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積したりして火災ややけどの原因になります。



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。

万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。電源を切った状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。



必ず実行

たこ足配線をしなない。

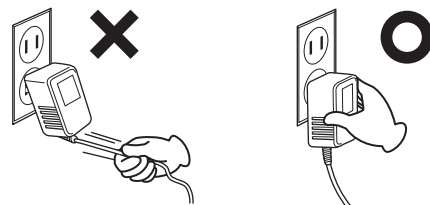
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱したりして火災の原因になります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

火災や故障の原因になります。

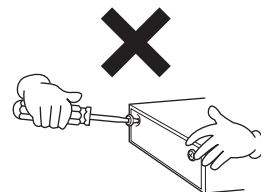
分解禁止



禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。



水に注意



禁止

浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところや水がかかるところで使用しない。

本製品の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。

電源アダプターは、室内専用のため屋外では使用しない。

内部に水などの液体が入ると、火災や感電、または故障の原因になります。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

本製品の近くで、火気を使用しない。

火災の原因になります。

ワイヤレス機器



- 医療機器の近くなど、電波の使用が制限された区域で使用しない。
- 心臓ペースメーカーや除細動器の装着部分から15 cm以内で使用しない。

本製品が発生する電波により、動作に影響があるおそれがあります。

取り扱い



必ず実行

心臓ペースメーカーや除細動器を使用している場合は、装着部分に近づけない。本製品に内蔵されている磁石の磁気により、動作に影響があるおそれがあります。

電池



禁止

- 電池を火の中に入れない。
- 電池を下記の場所に置かない。
 - 直射日光のあたる場所(日中の車内など)や火の近くなど極端に温度が高くなる場所
 - 温度や気圧が極端に低いところ
 - ほこりや湿気が多いところ

破裂により、火災やけがの原因になります。



禁止

- 指定(35ページ)以外の電池を使用しない。
- 電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。
- 種類の異なる電池を一緒に使用しない。
- +/-の極性表示とは異なった方向に電池を入れない。
- 電池を分解しない。
- 長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池を本体に入れたままにしない。
- 使い切りタイプの乾電池は充電しない

電池から液漏れが発生し、液に触れると失明や化学やけどなどのおそれがあります。また、本体の損傷の原因にもなります。



禁止

電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。

液に触れると失明や化学やけどなどのおそれがあります。万一液が目や口に入ったり皮膚についたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。



必ず実行

充電式電池を使用する場合は、電池のマニュアルの指示に従い、指定された充電器、指定された温度の範囲内で充電する。誤った充電は、液漏れ、発熱、破裂、故障の原因になります。



必ず実行

電池の取り付け、取り外しについては、本書を必ず読み、記載されている内容に従う。従わない場合、火災、発熱、破裂、故障の原因になる可能性があります。



禁止

電池は乳幼児の手の届くところに置かない。お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。



禁止

電池を落としたり、強い衝撃を与えたりしない。火災・感電・故障の原因になります。



必ず実行

電池を意図的にショートさせない。電池が破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池と金属片と一緒にポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。電池がショートし、破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。



必ず実行

電池の取扱方法を必ず守る。誤って使用すると、火災、感電、液漏れ、発熱、破裂、爆発、故障の原因になります。

接続



必ず実行

接続する機器のマニュアルを必ず読み、記載されている内容に従う。従わない場合、火災、発熱、破裂、故障の原因になる可能性があります。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。電池を使用している場合は、電池を本製品から抜く。

- 電源コード/プラグが破損した場合
- 製品から異常なおいや煙が出た場合
- 製品の内部に水や異物が入った場合
- 使用中に音が出なくなった場合
- 製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

⚠ 注意

設置



不安定な場所に置かない。
本体が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。

禁止



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。

コードをいためたり、お客様やほかの方々が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

指定のスタンドを使用する。また、付属のネジがある場合は必ずそれを使用する。
本製品が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

接続



必ず実行

ほかの機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ずすべての機器の音量(ボリューム)を最小にする。

聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になります。



必ず実行

演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。

聴力障害または機器の損傷の原因になります。

取り扱い



禁止

本体のすき間に手や指を入れない。
お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

パネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。
火災、感電、故障や動作不良の原因になります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。



禁止

大きな音量で長時間使用しない。
聴覚障害の原因になります。特にヘッドホンを使用する場合はご注意ください。万一、聴力低下や耳障りを感じた場合は、専門の医師にご相談ください。



- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

[⏻](オン/スタンバイ)スイッチを切った状態(画面表示が消えている)でも微電流が流れています。

[⏻](オン/スタンバイ)スイッチが切れている時の消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

本機は、電波法に基づく認証を受けた無線機器を搭載しています。

ご使用上の注意

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■ 製品の取り扱いに関する注意

- テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。
- スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスのアプリと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためスマートデバイスの機内モードをオンにしてからBluetoothをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
- 直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。

■ 製品のお手入れに関する注意

- お手入れの際は、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、アルコール、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。

■ データの保存に関する注意

- この楽器の設定は自動的に保存され、電源を切っても消えません。ただし保存された設定は故障や誤操作などのために失われることがあります。
- データを保存したUSBフラッシュメモリーの万一の事故に備えて、大切なデータは予備のUSBフラッシュメモリー/コンピューターなどの外部機器にバックアップとして保存されることをおすすめします。

お知らせ

■ データの著作権に関するお願い

- この製品に搭載されている「コンテンツ」*1の著作権は、ヤマハ(株)もしくはその著作権者に帰属します。私的使用のための複製など著作権法上認められている場合を除いて、権利者に無断で「複製または転用」*2することは禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。

なお、製品本来の使用を通して、上記コンテンツを使用した音楽制作や演奏を行い、それらを録音して配布する場合、配布方法が有償、無償を問わずヤマハ(株)の許諾は必要ありません。

*1:「コンテンツ」には、コンピュータープログラム、サウンドデータ、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどを含みます。

*2:「複製または転用」には、この製品に内蔵または同梱されたコンテンツそのものを取り出すこと、もしくは酷似した形態で記録/録音して配布することを含みます。

■ 製品に搭載されている機能/データに関するお知らせ

- この製品には、XGフォーマット以外の音楽/サウンドデータを扱う機能があります。その際、元のデータをこの楽器に最適化して動作させるため、オリジナルデータ(音楽/サウンドデータ)制作者の意図どおりには再生されない場合があります。ご了承のうえ、ご使用ください。

-  T-2340004

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- NOTEで示す内容は、本製品をお使いいただくうえで知っていると便利な情報です。
- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Mac、iPhone、iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。ヤマハ株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。



- MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

(bottom_ja_02)

USB [TO DEVICE]端子ご使用上の注意

本製品にはUSB [TO DEVICE]端子があります。USB [TO DEVICE]端子にUSB機器を接続する場合は、以下のことをお守りください。

NOTE

USB機器の取り扱いについては、お使いのUSB機器の取扱説明書もご参照ください。

■ 使用できるUSB機器

- USBフラッシュメモリー

上記以外のUSB機器(USBハブ、マウス、コンピューターのキーボードなど)は、接続しても使えません。

動作確認済みUSB機器については、下記ウェブサイトの「資料／データ」から確認できます。ご購入の前に確認ください。

サポート・お問い合わせ：

<https://jp.yamaha.com/support/>

本製品では、USB1.1～3.0の機器がご使用できますが、機器への保存や機器からの読み込みにかかる時間は、データの種類や本製品の状態により異なりますのでご了承ください。

ご注意

USB [TO DEVICE]端子の定格は、最大5V/500mAです。定格を超えるUSB機器は故障の原因になるため、接続しないでください。

■ USB機器の接続

USB [TO DEVICE]端子の形状に合うプラグを上下の向きに注意して差し込んでください。

ご注意

- USB機器の抜き差しは、再生や録音中、ファイル操作中(削除など)、およびUSB機器へのアクセス中には行わないでください。本製品の機能が停止したり、USB機器やデータが壊れたりするおそれがあります。
- USB機器の抜き差しは、数秒間隔を空けて行ってください。
- USB機器の接続にケーブルは使わないでください。

USBフラッシュメモリーの取り扱いについて

本製品にUSBフラッシュメモリーを接続すると、本製品で録音したデータをUSBフラッシュメモリーに保存したり、USBフラッシュメモリーのデータを本製品で再生したりできます。

■ 接続できるUSBフラッシュメモリーの数

同時に使用できるUSBフラッシュメモリーは、1台までです。

■ USBフラッシュメモリーのフォーマット

USBフラッシュメモリーを本製品でフォーマットすることはできません。コンピューターなどで、FAT32形式でフォーマットしてください。

ご注意

フォーマットを実行すると、そのUSBフラッシュメモリーの中身は消去されます。必要なデータが入っていないのを確認してからフォーマットしてください。

■ 誤消去防止

USBフラッシュメモリーには、誤ってデータを消してしまわないようライトプロテクト機能のついたものがあります。大切なデータが入っている場合は、ライトプロテクトで書き込みができないようにしましょう。逆にデータを保存する場合などは、ご使用前にお使いのUSBフラッシュメモリーのライトプロテクトが解除されていることをご確認ください。

■ USBフラッシュメモリー接続時に電源を切るには

電源を切る場合は、再生/録音やファイル操作(削除など)によるUSBフラッシュメモリーへのアクセス中でないことを確認してください。USBフラッシュメモリーやデータが壊れたりするおそれがあります。

USB [TO HOST]端子ご使用時の注意

USB [TO HOST]端子でコンピューターと接続するときは、コンピューターや本製品の停止(ハングアップ)によるデータの損失を防ぐため、以下のことを行ってください。

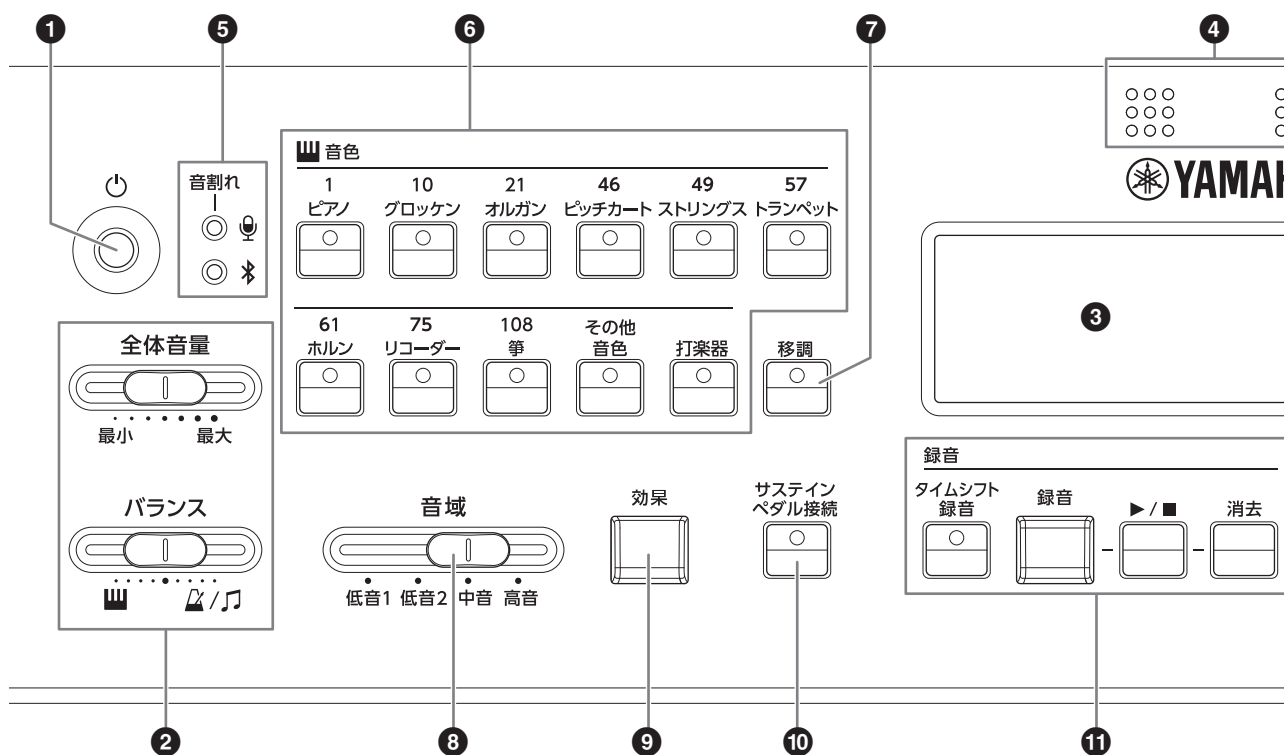
ご注意

- USBケーブルはABタイプで、3メートル未満のものをご使用ください。USB3.0ケーブルは、使用できません。
- 本製品の電源オン/オフやUSBケーブルの抜き差しをする前に、以下のことを行ってください。
 - すべてのアプリケーションを終了させてください。
 - 本製品からデータが送信されていないか確認してください。(鍵盤を演奏したりソングを再生させたりしても、本製品からデータが送信されます。)
- 本製品の電源オン/オフやUSBケーブルの抜き差しは、6秒以上間隔を空けて行ってください。

コンピューターや本製品が停止したときは、アプリケーションやコンピューターを再起動するか、本製品の電源を入れ直してください。

各部の名称

フロントパネル



① [⏻](オン/スタンバイ)スイッチ 14ページ
電源のオン/スタンバイを切り替えます。

② [全体音量]スライダー..... 14ページ
本製品の全体音量を調節します。

[バランス]スライダー..... 14ページ
鍵盤で弾く音の音量と、その他(メトロノームやリズムなど)の音量バランスを調節します。

③ 液晶ディスプレイ..... 17ページ
本製品の状態や設定値などを表示します。

④ 内蔵マイク 16ページ
録音時に使います。

⑤ マイク音量表示LED 16ページ
マイクの入力音量が過大なときに点灯します。感度調節をするときに使います。

Bluetooth状態表示LED 32ページ
Bluetoothの通信状態を表示します。スマートデバイスと接続するときに使います。

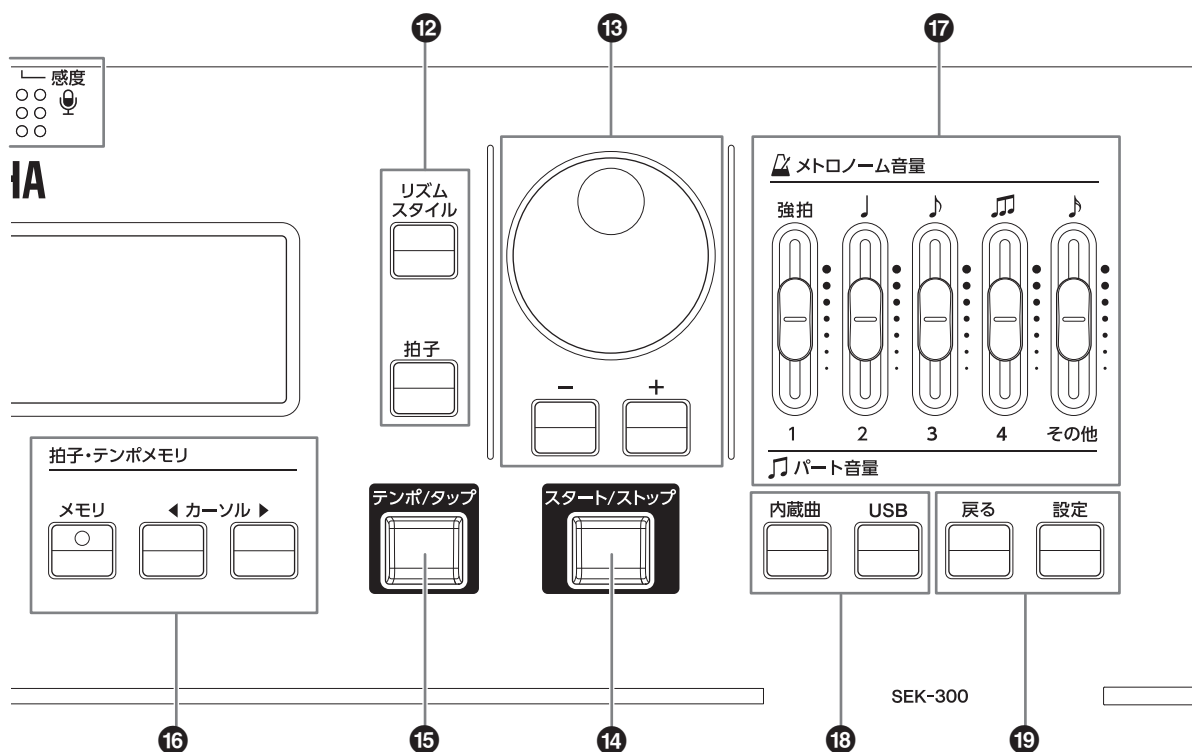
⑥ 音色選択ボタン 18ページ
鍵盤を弾いたときに鳴らす音色を選択します。

⑦ [移調]ボタン..... 20ページ
鍵盤のピッチを半音単位で上下に移動させます。内蔵曲を移調することもできます。このとき内蔵曲と鍵盤は同時に移調されます。

⑧ [音域]スライダー 19ページ
鍵盤で鳴らす音の音域をオクターブ単位で上げ下げします。

⑨ [効果]ボタン..... 20ページ
押すとボタンが点灯し、ビブラート、リバーブ、サステイン、タッチレスポンスの設定画面が表示されます。設定画面を表示中に[効果]ボタンを押すと、ホーム画面に戻ってボタンが消灯します。音色を切り替えると効果の設定は元の値に戻ります。

⑩ [サステインペダル接続]ボタン 29ページ
フットペダル(FC3A、別売)を接続して使うときにオンにします。オンにするとLEDが緑色に点灯します。



フットコントローラー (FC7、別売)を接続して使うときは、オフにしてください。

11 録音操作ボタン.....25ページ

録音や、聞き返しの操作に使います。

12 [リズムスタイル]ボタン22ページ

リズムスタイルの再生に使います。

[拍子]ボタン22ページ

メトロノームの拍子を設定します。

13 ダイヤル、[-]/[+]ボタン 17ページ

設定値の変更や、ファイルを選択します。

14 [スタート/ストップ]ボタン 21、22ページ

リズムスタイル/メトロノーム、内蔵曲、USBフラッシュメモリー上のファイル再生のスタート/ストップを操作します。

15 [テンポ/タップ]ボタン22ページ

再生テンポを調節します。

16 拍子・テンポメモリボタン..... 23ページ

メトロノームの拍子構成を入力、記憶、呼び出しします。

NOTE

カーソル[◀][▶]ボタンは、他の機能のカーソル移動にも使います。

17 [メトロノーム音量/パート音量]スライダー 16、21、22、23ページ

メトロノームの音符ごとの音量や、内蔵曲などのパートごとの音量を調節します。

18 [内蔵曲]ボタン 21ページ

内蔵曲の操作をするときに使います。

[USB]ボタン 27ページ

USBフラッシュメモリーのファイルを再生するときに使います。

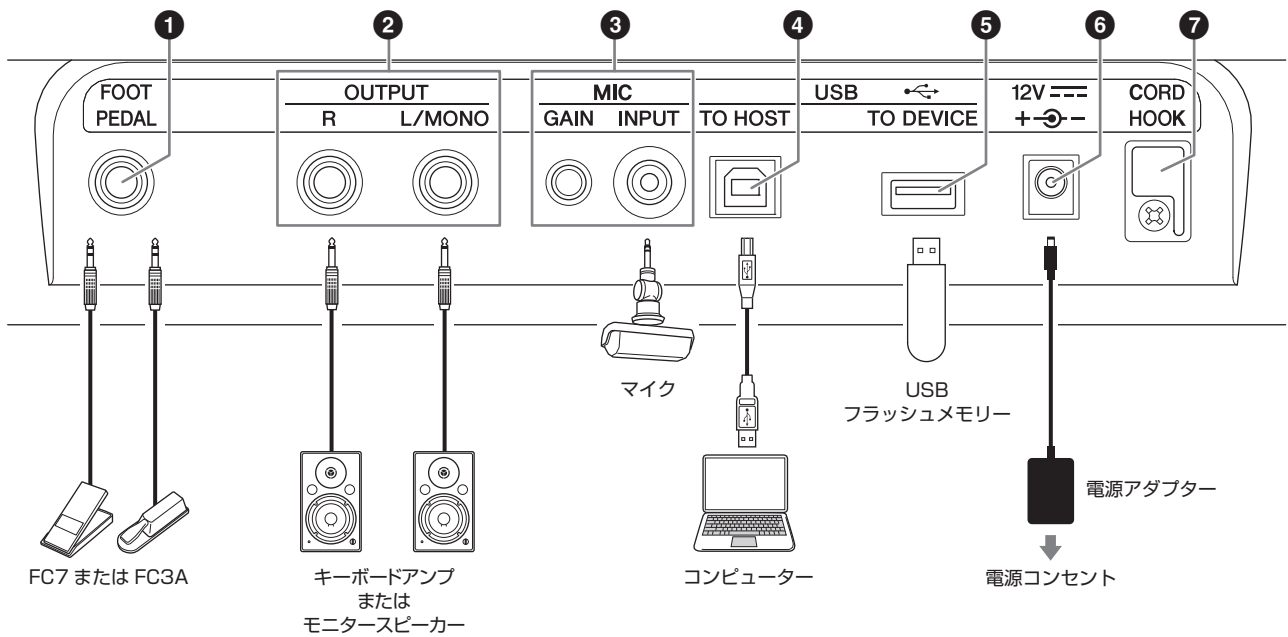
19 [戻る]ボタン.....21、27、28ページ

内蔵曲、USBファイル再生、設定画面などで階層を1つ上がったり、画面から抜けたりします。

[設定]ボタン

..... 15、16、17、28、32ページ
詳細設定画面を呼び出します。

リアパネル



① [FOOT PEDAL]端子29ページ

別売のフットコントローラー FC7やフットペダル FC3Aを接続します。フットコントローラーはエクスペッションペダル、フットペダルはサステインペダルとして使えます。

② OUTPUT [L/MONO]/[R]端子29ページ

オーディオ信号を出力する端子(標準フォーン端子)です。外部アンプやスピーカーに接続して、大音量を出したいときに使います。モノラル出力したい場合は[L/MONO]端子だけに接続します。

③ MIC [INPUT]端子、MIC [GAIN]ノブ 24、30ページ

市販のマイク(ステレオミニフォーン端子、プラグインパワー対応)を接続します。接続すると、内蔵マイクは無効になります。[GAIN]ノブを回して、内蔵マイクと外部接続マイクの感度を調節します。

④ USB [TO HOST]端子 .. 30、31ページ

市販のUSBケーブルを使ってコンピューターと接続します。接続すると、MIDIとオーディオの通信ができます。

⑤ USB [TO DEVICE]端子 30ページ

録音やファイル再生機能を使うために必要なUSBフラッシュメモリーを接続します。

⑥ DC IN端子..... 13ページ

付属、または別売の電源アダプターを接続します。

⑦ コードフック 13ページ

ACアダプターのコードの損傷を防ぐために使用します。

ご使用前の準備

電源の準備

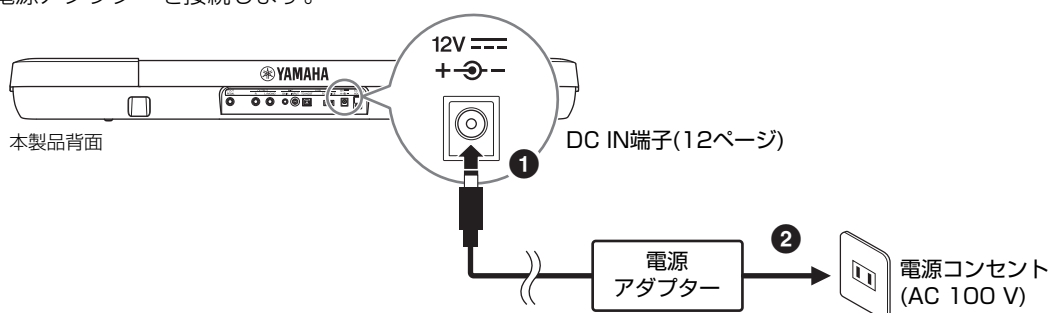
本製品の電源には、電源アダプターか電池を使用できますが、環境に配慮して、電源アダプターのご使用をおすすめします。

ご注意

USBフラッシュメモリーに対する操作を行う場合は、電源アダプターをご使用ください。電池を使用すると、操作中に電源が切れてデータを失うおそれがあります。

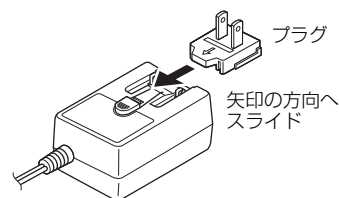
電源アダプターを使うときは

図の順序で電源アダプターを接続します。



警告

- 電源アダプターは、必ず指定のもの(35ページ)をご使用ください。異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねることがございますので、十分にご注意ください。
- プラグが外れるタイプの電源アダプターは、必ずプラグを装着した状態で使用、または保管してください。プラグ部分だけをコンセントに差し込むと、感電や火災の原因になります。
- プラグが外れた場合は、内部の金属部分に触れないように注意して、カチッと音がするまで完全に差し込んでください。また異物が入らないようにご注意ください。感電やショート、故障の原因になります。

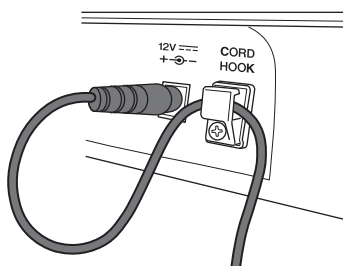


注意

本製品はコンセントの近くに設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ご注意

電源アダプターのケーブルの損傷を防ぐため、コードフックにコードをかけてご使用ください。



NOTE

電源アダプターを外すときは、電源を切ってから、逆の手順で行ってください。

電池を使うときは

本製品では、単3形のアルカリ乾電池、および充電式ニッケル水素電池(充電電池)を使用できます。

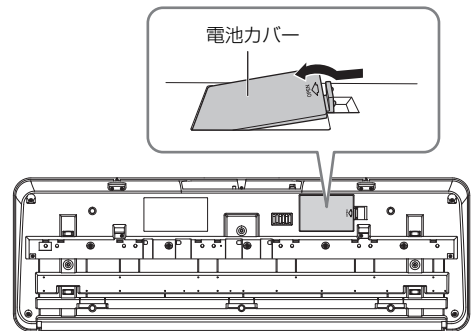
1. 電源が切れていることを確認してください。
2. 本製品を柔らかい布などの上で裏返して置き、電池カバーを外します。
3. 電池6本を入れます。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。
4. 電池カバーを閉めます。

ご注意

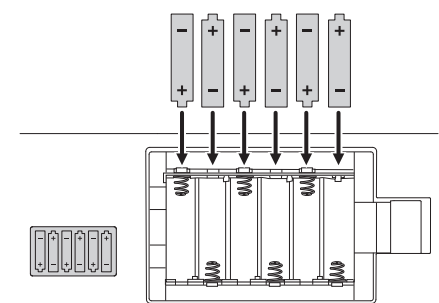
- 電池がセットされている場合でも、電源が入っているときに電源アダプターのDCプラグを抜き差ししないでください。DCプラグを抜き差しすると電源が切れ、録音中や転送中のデータが失われます。
- 電池が少なくなると、画面に「電池が消耗しています」というメッセージが表示されます。このような場合は、すべての乾電池を交換するか、充電電池を充電してください。電池を交換せずにそのままご使用を続けると、正常に動かなくなるか、突然電源が切れます。

NOTE

- 充電電池は、必ず専用の充電器で充電してください。本製品では、充電できません。
- 電池が本製品に入っている状態でも、電源アダプターが接続されている場合は、電源アダプターから電源が供給されます。



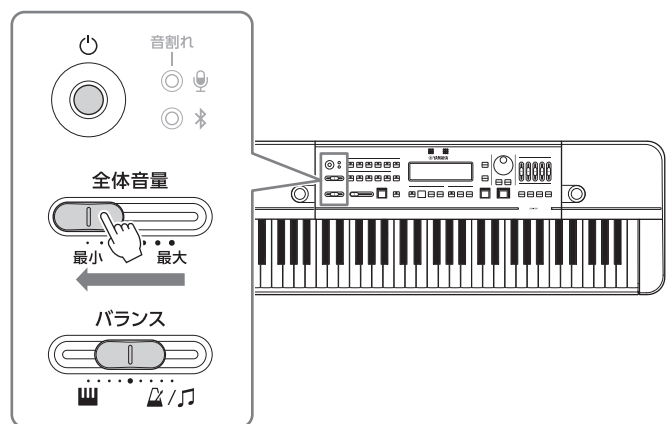
本製品底面



電源を入れる/切る

電源を入れる

1. [全体音量]スライダーを左に動かし、音量を最小にします。
2. 必要に応じて、外部機器(電子楽器用アンプなど)を本製品に接続します。
接続方法などの詳細については「外部機器を接続する」(29ページ)をご覧ください。
3. [⏻](オン/スタンバイ)スイッチを押して電源を入れます。
本製品画面に表示が現れます。
4. 外部機器の電源を入れ、外部機器の音量などを調節します。
5. 本製品の音量を調節します。
 - 5-1. [バランス]スライダーの位置を中央にします。
 - 5-2. 鍵盤を弾いて確かめながら、[全体音量]スライダーを徐々に右に動かし、音量を上げてください。



ご注意

電源を入れてから、本製品が完全に起動する(画面に表示が現れる)まで、操作(鍵盤やボタンを押す、ペダルを踏むなど)しないでください。誤動作する原因になります。

電源を切る

1. 外部機器を接続している場合は、外部機器の音量を最小にしてから、外部機器の電源を切ります。
2. [全体音量]スライダーを左に動かし、最小にします。
3. [⏻](オン/スタンバイ)スイッチを長押し(1秒)してから離します。
画面にメッセージが表示され、数秒後に電源がオフになります。



注意

電源を切った状態でも微電流が流れています。本製品を長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。また、電池を使用している場合は、電池を本製品から抜いてください。

オートパワーオフ機能

本製品は、電源の切り忘れによる不要な電力消費を防ぐため、オートパワーオフ機能を搭載しています。これは、本製品が一定時間操作されないと自動的に電源が切れる機能です。自動的に電源が切れるまでの時間は、使用する電源の種類によって異なります。電池を使っている場合は30分、電源アダプターを使っている場合は2時間です。オートパワーオフ機能は、設定画面(28ページ)で有効/無効を変更できます。

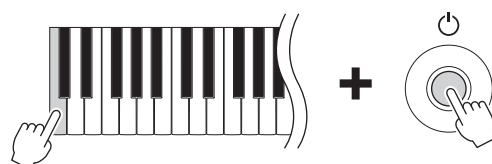
■ オートパワーオフ機能を無効にする

• 電源が切れている場合

左端の鍵盤を押したまま電源を入れます。

• 電源が入っている場合

[設定]ボタンを押して設定5/5の画面を開き、「オートパワーオフ」を「無効」に設定します。



■ オートパワーオフ機能を有効にする

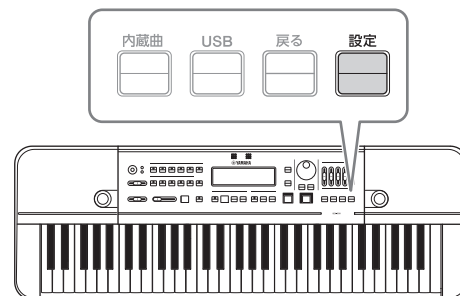
[設定]ボタンを押して設定5/5画面を開き、「オートパワーオフ」を「有効」に設定します。

ご注意

アンプ・スピーカー・コンピューターなどの外部機器を本製品に接続した状態で、一定時間本製品を操作しない場合は、外部機器の損傷を防ぐため、本書の手順に従って外部機器と本製品の電源を切ってください。接続した状態で自動的に電源が切れるのを避けたい場合は、オートパワーオフ機能を無効にしてください。

NOTE

設定画面でのカーソルの移動にはカーソル[◀][▶]ボタン、値の変更には[-][+]ボタンやダイヤルを使います。



音量、マイク感度、画面コントラストを調節する

音量を調節する

鍵盤を弾いて音を出しながら、[全体音量]スライダーを左右に動かして、全体音量を調節します。

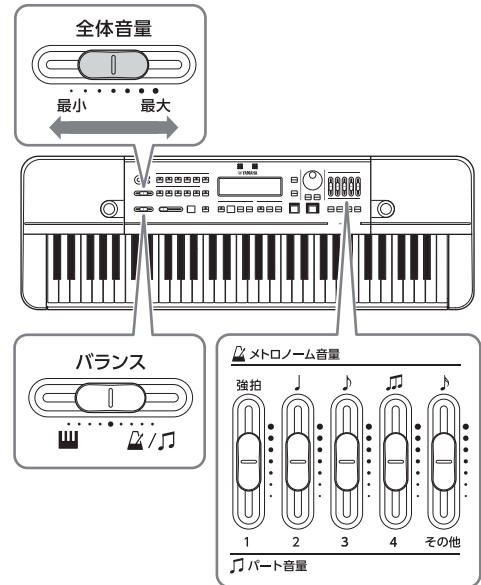
そのほかに、以下の音量調節スライダーがあります。

- [バランス]スライダー：鍵盤の演奏とそれ以外(内蔵曲やリズム再生)の音量バランスを調節します。左に動かすと、鍵盤の音量が大きくなります。右に動かすと、鍵盤の演奏以外の音量が大きくなります。
- [メトロノーム音量・パート音量]スライダー：メトロノームの各音符の音量や、内蔵曲などの各パートの音量を個別に調節します。



注意

大きな音量で長時間使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

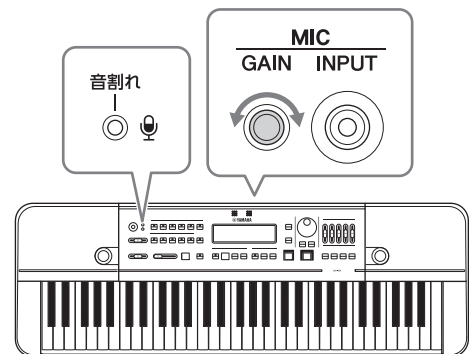


マイクの感度を調節する

マイクに入力する音を出しながら、リアパネルのMIC [GAIN]ノブを動かして、マイクの感度を調節します。録音したい音が一番大きいときでもパネル左上にあるマイク音量表示LEDが点灯しないようにします。

NOTE

- 液晶画面左下の入力レベルメーターでも、入力音の大きさを確認できます。液晶画面を見て調節する場合は、画面上に「Clip!」が表示されないように調節します。
- MIC [GAIN]ノブを最小にしてもマイク音量表示LEDが点灯する場合は、SEK-300と音源の距離を広げて調節してください。
- マイクから入力された音は、録音にのみ使用されます。ライン出力やスピーカーからは出力されません。

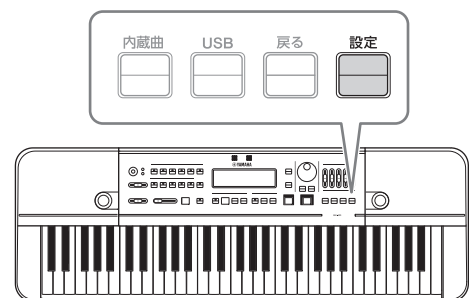


画面のコントラスト(明暗)を調節する

[設定]ボタンを押して設定画面を開き、「LCDコントラスト」の値を変更します。

NOTE

設定画面でのカーソルの移動にはカーソル[◀][▶]ボタン、値の変更には[-][+]ボタンを使います。



画面の見かたと基本操作

電源を入れると、ホーム画面が表示されます。

ホーム画面

表示内容



①～②は音色関連、③は録音関連、④～⑤はリズム再生関連の表示です。

① 音色

選ばれている音色名を表示します。(18ページ)

② 移調(トランスポーズ)

移調設定を表示します。(20ページ)

③ 録音、マイク入力

録音の状態と、マイク入力レベルを表示します。
(24ページ)

④ テンポ、基準音符

テンポと、テンポの基準音符を表示します。(22、23ページ)

⑤ 拍子、メモリ番号

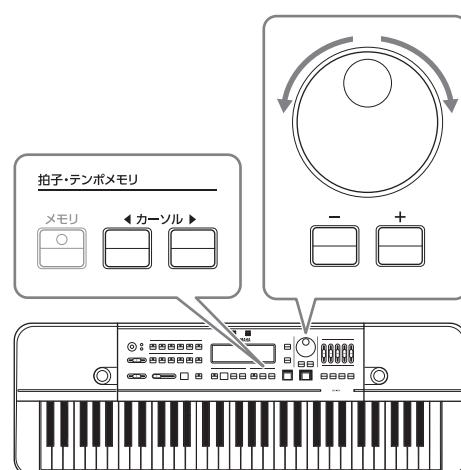
拍子、または拍子・テンポメモリ(変拍子)について表示します。(22、23ページ)

基本操作

- カーソルがあるところが反転表示され、[-]/[+]ボタンや、ダイヤルで操作できます。上図の例では「M1」のところにカーソルがあります。
- パネル上のボタン(カーソル[◀][▶]ボタンなど)を押すと、カーソルが移動したり、画面の一部の表示が切り替わったりします。
- [内蔵曲]ボタン(21ページ)、[USB]ボタン(27ページ)、[設定]ボタン(15、16、17、28、32ページ)を押すとそれぞれ、専用の画面が呼び出されます。各画面については、それぞれのページで説明します。

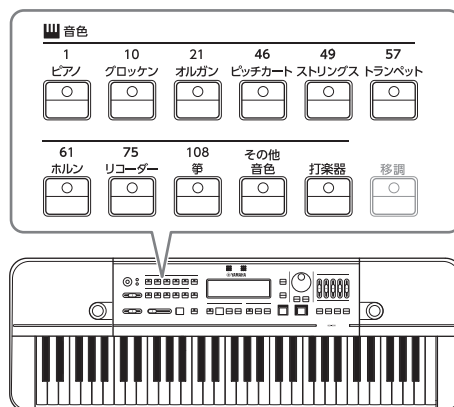
NOTE

[-]ボタンと[+]ボタンを同時に押すと、操作中の値が初期値に戻ります。



音色を選ぶ

鍵盤を弾いたときに鳴らす音色を選ぶことができます。
音色ボタンを押して代表的な音色を選び、ダイヤルまたは[-]/[+]ボタンでその他の音色を選びます。
音色のリストについては、下の表をご覧ください。



音色一覧

| 分類 | 音色番号 | 音色名 |
|----------------|------|----------------|
| ピアノ系 | 1 | グランドピアノ* |
| | 2 | ブライトピアノ |
| | 3 | エレクトリックグランドピアノ |
| | 4 | ホンキートンクピアノ |
| | 5 | エレクトリックピアノ1 |
| | 6 | エレクトリックピアノ2 |
| | 7 | ハーブシコード |
| | 8 | クラビ |
| クロマチックパーカッション系 | 9 | チェルスタ |
| | 10 | グロックンシュピール* |
| | 11 | ミュージックボックス |
| | 12 | ビブラフォン |
| | 13 | マリンバ |
| | 14 | シロフォン |
| | 15 | チューブラーベル |
| | 16 | ダルシマー |
| オルガン系 | 17 | ドローパーオルガン |
| | 18 | パーカッシブオルガン |
| | 19 | ロックオルガン |
| | 20 | チャーチオルガン |
| | 21 | リードオルガン* |
| | 22 | アコーディオン |
| | 23 | ハーモニカ |
| | 24 | タンゴアコーディオン |
| ギター系 | 25 | ナイロンギター |
| | 26 | スチールギター |
| | 27 | ジャズギター |
| | 28 | クリーンギター |
| | 29 | ミュートギター |
| | 30 | オーバードライブギター |
| | 31 | ディストーションギター |
| | 32 | ギターハーモニクス |
| ベース系 | 33 | アコースティックベース |
| | 34 | フィンガーベース |
| | 35 | ピックベース |
| | 36 | フレットレスベース |
| | 37 | スラップベース1 |
| | 38 | スラップベース2 |

| 分類 | 音色番号 | 音色名 | |
|-----------|------|------------|----------|
| リード系 | 65 | ソプラノサクソフォン | |
| | 66 | アルトサクソフォン | |
| | 67 | テナーサクソフォン | |
| | 68 | バリトンサクソフォン | |
| | 69 | オーボエ | |
| | 70 | イングリッシュホルン | |
| | 71 | バスーン | |
| | 72 | クラリネット | |
| | パイプ系 | 73 | ピッコロ |
| | | 74 | フルート |
| 75 | | リコーダー* | |
| 76 | | パンフルート | |
| 77 | | ボトル | |
| 78 | | 尺八 | |
| 79 | | ホイッスル | |
| 80 | | オカリナ | |
| シンセリード系 | | 81 | 矩形波リード |
| | | 82 | ノコギリ波リード |
| | 83 | カリオペリード | |
| | 84 | チフリード | |
| | 85 | チャランリード | |
| | 86 | ボイスリード | |
| | 87 | 5度リード | |
| | 88 | ベース&リード | |
| シンセパッド系 | 89 | ニューエイジパッド | |
| | 90 | ウォームパッド | |
| | 91 | ポリシンセパッド | |
| | 92 | クワイアパッド | |
| | 93 | ボウダパッド | |
| | 94 | メタリックパッド | |
| | 95 | ハローパッド | |
| | 96 | スイープパッド | |
| シンセエフェクト系 | 97 | レイン | |
| | 98 | サウンドトラック | |
| | 99 | クリスタル | |
| | 100 | アトモスフィア | |
| | 101 | ブライトネス | |
| | 102 | ゴブリン | |

| 分類 | 音色番号 | 音色名 |
|---------|------|---------------|
| ベース系 | 39 | シンセベース1 |
| | 40 | シンセベース2 |
| ストリングス系 | 41 | バイオリン |
| | 42 | ビオラ |
| | 43 | チェロ |
| | 44 | コントラバス |
| | 45 | トレモロストリングス |
| | 46 | ピッチカートストリングス* |
| | 47 | ハーブ |
| | 48 | ティンパニ |
| オーケストラ系 | 49 | ストリングスアンサンブル1 |
| | 50 | ストリングスアンサンブル2 |
| | 51 | シンセストリングス1 |
| | 52 | シンセストリングス2 |
| | 53 | コーラス アー |
| | 54 | ボイス ウー |
| | 55 | シンセボイス |
| | 56 | オーケストラヒット |
| ブラス系 | 57 | トランペット* |
| | 58 | トロンボーン |
| | 59 | チューバ |
| | 60 | ミュートトランペット |
| | 61 | フレンチホルン* |
| | 62 | ブラスセクション |
| | 63 | シンセブラス1 |
| | 64 | シンセブラス2 |

| 分類 | 音色番号 | 音色名 | |
|------------|----------|-------------|---------|
| シンセ | 103 | エコー | |
| エフェクト系 | 104 | サイエンスフィクション | |
| エスニック系 | 105 | シタール | |
| | 106 | バンジョー | |
| | 107 | 三味線 | |
| | 108 | 箏* | |
| | 109 | カリンバ | |
| | 110 | バグパイプ | |
| | 111 | フィドル | |
| | 112 | シャナイ | |
| | パーカッション系 | 113 | ティンクルベル |
| | | 114 | アゴゴ |
| 115 | | スチールドラム | |
| 116 | | ウッドブロック | |
| 117 | | 和太鼓 | |
| 118 | | メロディックタム | |
| 119 | | シンセドラム | |
| 120 | | リバースシンバル | |
| サウンドエフェクト系 | | 121 | フレッドノイズ |
| | | 122 | ブレスノイズ |
| | 123 | 海辺 | |
| | 124 | 鳥のさえずり | |
| | 125 | 電話のベル | |
| | 126 | ヘリコプター | |
| | 127 | 拍手 | |
| | 128 | 銃声 | |

*の付いた音色はパネル音色に使われています。

打楽器音色リスト

音色ボタンで「打楽器」を選ばると、鍵盤で打楽器の演奏ができます。

打楽器の音色リストについては、下の表をご覧ください。

それぞれの鍵盤に対応する打楽器は、製品本体に表示のアイコンをご確認ください。

| | |
|------|----------|
| キット1 | スタンダード 1 |
| キット2 | スタンダード 2 |
| キット3 | ルーム |
| キット4 | ロック |

| | |
|------|-------|
| キット5 | エレクトロ |
| キット6 | アナログ |
| キット7 | ダンス |
| キット8 | ジャズ |

| | |
|-------|-------|
| キット9 | ブラシ |
| キット10 | クラシック |
| キット11 | パワー |

音域を選択する

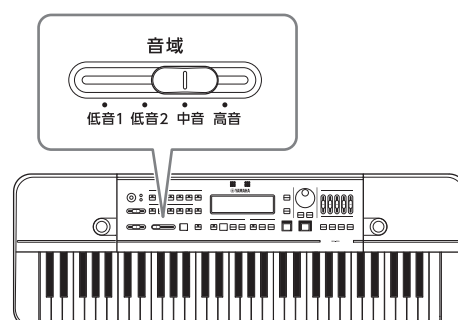
[音域]スライダーを使って、鍵盤で弾いたときに鳴る音域を選択できます。

スライダーの位置と音域の関係は、次のとおりです。

| スライダー位置 | 低音1 | 低音2 | 中音 | 高音 |
|---------|--------|-------|-------|-------|
| 音域 | C-1~C4 | C0~C5 | C1~C6 | C2~C7 |

NOTE

音域スライダーは「打楽器」の音色グループには影響しません。



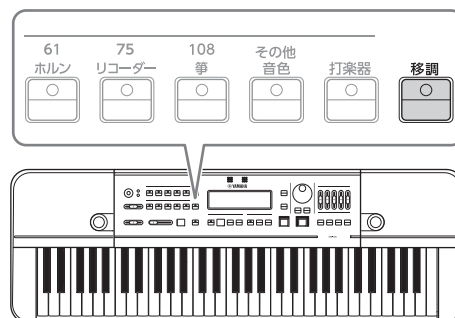
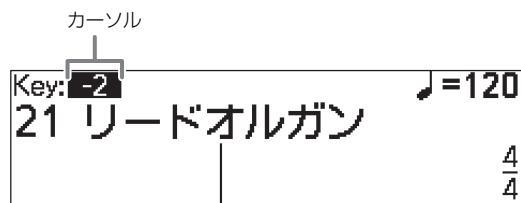
移調(トランスポーズ)を設定する

内蔵曲や鍵盤の移調(トランスポーズ)を設定できます。

[移調]ボタンを押すと、液晶ディスプレイ左上の「Key」の数値(移調量)にカーソルが移動します。

[-]/[+]ボタンまたはダイヤルで移調量を設定します。

移調量：-12 ~ 0 ~ +12

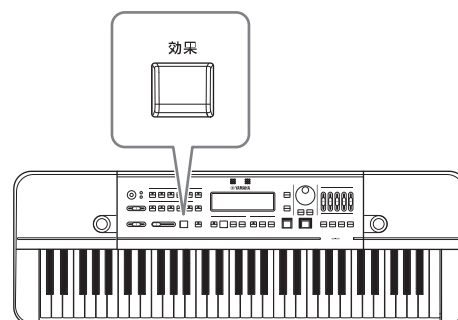


NOTE

移調量が0のときは、[移調]ボタンのLEDは点灯しません。

ビブラート・リバーブ・サステイン・タッチレスポンスを設定する

[効果]ボタンを押すとランプが点灯し、ビブラート・リバーブ・サステイン・タッチレスポンスの設定画面が表示されます。



カーソル[◀]/[▶]ボタンで設定したい値を選び、[-]/[+]ボタンまたはダイヤルで数値を設定します。

設定画面を表示中に[効果]ボタンを押すと、ホーム画面に戻り、ボタンが消灯します。

音色を切り替えると効果の設定は元の値に戻ります。

設定できる項目については、以下の表でご確認ください。

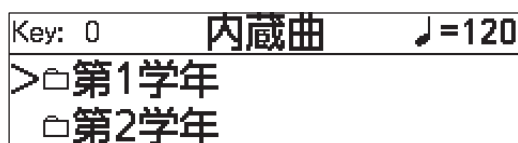
| 設定項目 | 内容 | 設定できる値 |
|----------|--|---------------------|
| ビブラート | 音が揺れる効果を与えます。 数字が大きいくほど効果の深さが大きくなります。 | 0~15 (初期値：0) |
| リバーブ | 臨場感のある広がりを与える効果です。 数字が大きいくほど効果が大きくなります。 | 0~15 (初期値：8) |
| サステイン | 鍵盤から指を離れたあと、音に余韻を持たせる効果です。 | オン/オフ (初期値：オフ) |
| タッチレスポンス | 鍵盤を押さえるタッチの強弱によって、音量と音色を変化させる効果です。 ・ 同じ強さで鍵盤を弾いた場合、「1」の方が「3」よりも大きく音が鳴ります。 ・ 「オフ」にすると、鍵盤を弾く強さに関わらず同じ大きさで音が鳴ります。 | オフ/1/2/3 (初期値：2) |

内蔵曲を再生する

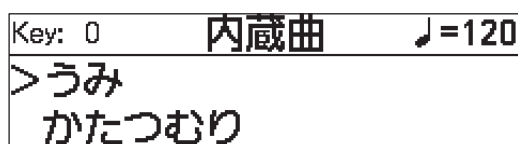
本製品には内蔵曲が搭載されています。学年別に曲が用意されていますので、授業の内容に応じてお使いいただけます。

内蔵曲を再生する

1. パート音量スライダーがすべて最小になっていないことを確認します。
2. 「内蔵曲」ボタンを押します。
3. ダイヤルまたは[-]/[+]ボタンを使って、内蔵曲の中から適した学年を選びます。



4. カーソル[▶]ボタンを押します。
学年ごとに適した曲名が表示されます。



5. ダイヤルまたは[-]/[+]ボタンを使って、再生したい曲名を選びます。

NOTE

階層を下がるときは[スタート/ストップ]ボタンまたはカーソル[▶]ボタン、上がるときは[戻る]ボタンまたはカーソル[◀]ボタンを押します。

6. [スタート/ストップ]ボタンを押して、曲を再生/停止します。

内蔵曲のパート音量を調節する

内蔵曲はお好みに応じて、曲の一部(パート)の音量を個別に調節できます。
パート音量スライダー 1~4とその他を動かして、お好みの音量バランスに調節してください。

NOTE

パートの分け方は曲によって異なります。

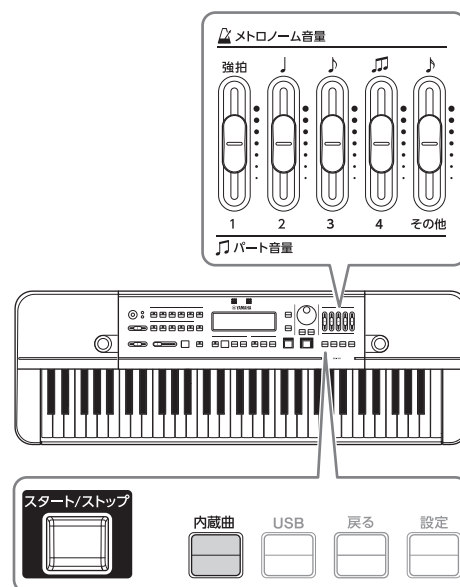
内蔵曲に合わせて鍵盤を弾く

内蔵曲を再生しながら鍵盤で演奏できます。選んだ曲のパート音量を下げて、自分の演奏を重ねるなどの使い方ができます。

1. [音色]ボタンを押してお好みの音色グループを選びます。
2. ダイヤルや[-]/[+]ボタンを使ってお好みの音色を選びます。
3. 「内蔵曲を再生する」の手順1~5を行って、曲を選びます。
4. 「内蔵曲のパート音量を調節する」の説明に沿って、パート音量を調節します。
5. [スタート/ストップ]ボタンを押して、曲を再生/停止します。
6. 曲の再生中に鍵盤で演奏します。

NOTE

鍵盤で演奏する音と内蔵曲の音量バランスを変えたいときは、[バランス]スライダーで調節してください。



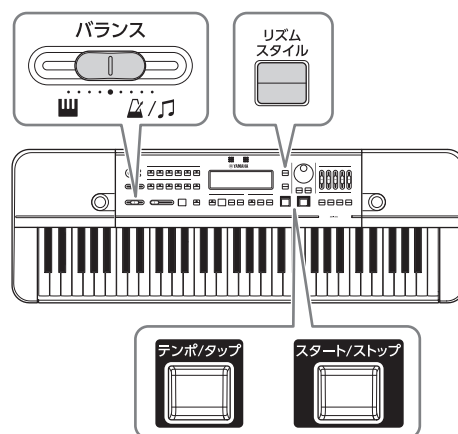
主なジャンルのリズムパターンやメトロノームを鳴らす

本製品にはリズムスタイルとメトロノームが搭載されています。指導の内容に応じて使い分けできます。

主なジャンルのリズムパターンを鳴らす(リズムスタイル)

8ビートやスイングなどを選んで再生できます。

1. [バランス]スライダーをお好みの位置に調節します。
[バランス]スライダーが完全に左側になっていると、リズムスタイルが聴こえません。
2. [リズムスタイル]ボタンを押します。
液晶ディスプレイの右下にリズムスタイルが表示されます。

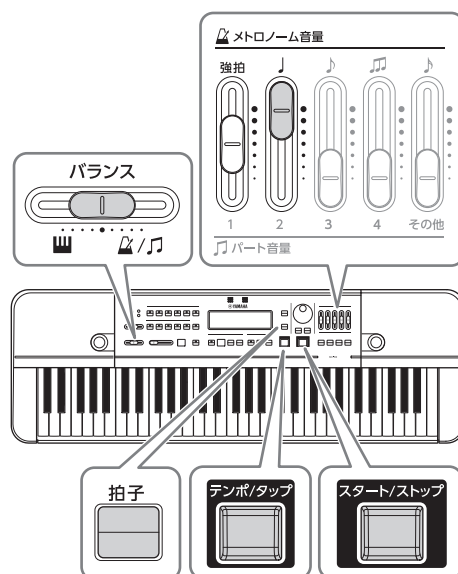
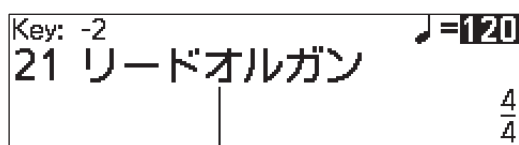


3. [-]/[+]ボタン、またはダイヤルでお好みのリズムスタイルを選択します。
4. [テンポ/タップ]ボタンを押して、液晶ディスプレイ右上のテンポ数を設定します。
ダイヤルまたは[-]/[+]ボタンで基準音符に対するテンポを入力します。テンポの範囲は4分音符基準で32~280です。[-]/[+]ボタンを同時に押すと、初期値に戻ります。
5. [スタート/ストップ]ボタンでリズムスタイルの再生を開始/停止します。

メトロノームを鳴らす

シンプルなメトロノームを鳴らす

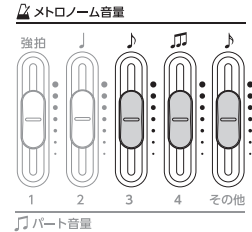
1. [バランス]スライダーをお好みの位置に調節します。
[バランス]スライダーが完全に左側になっていると、メトロノームが聴こえません。
2. メトロノーム音量スライダーの「4分音符」を最大にします。
さらに、1拍目を強拍にしたい場合は、メトロノーム音量スライダーの「強拍」を最大にします。
3. [テンポ/タップ]ボタンを押します。
4. [テンポ/タップ]ボタンを押して、液晶ディスプレイ右上のテンポ数を設定します。
ダイヤルまたは[-]/[+]ボタンで基準音符に対するテンポを入力します。テンポの範囲は4分音符基準で32~280です。[-]/[+]ボタンを同時に押すと、初期値に戻ります。



5. [拍子] ボタンを押して、メトロノームの拍子を設定します。
分母と分子の数を設定するときには、カーソル[◀][▶]ボタンでカーソルを移動します。
6. [スタート/ストップ] ボタンでメトロノームを開始/停止します。

音符ごとの音量を調節してメトロノームを鳴らす

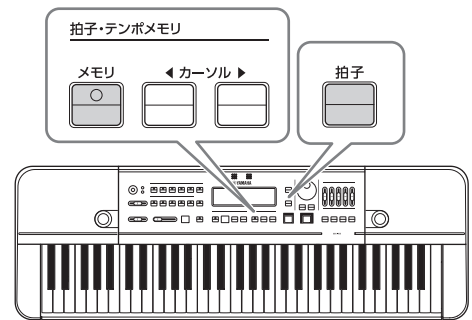
メトロノーム音量スライダーを調節することで、4分音符以外に、8分音符や三連符、16分音符を鳴らすこともできます。鳴らし方は「シンプルなメトロノームを鳴らす」と同じです。



変拍子を設定・保存してメトロノームを鳴らす

お好みのステップ数で拍子を設定して、変拍子のメトロノームを鳴らすこともできます。

1. 拍子・テンポメモリの[メモリ]ボタンを押します。
カーソルがメモリ番号に移動します。



2. [拍子] ボタンを押して、拍子表示部にカーソルを移動させます。
カーソル[◀][▶]ボタンでカーソルを移動して、メモリを編集します。
3. 「M1」～「M8」: 番号上にカーソルがあるとき、メモリ番号を選択します。
[-]/[+]ボタンを押して変更します。



4. 1つのメモリに、最大8ステップまで変拍子を入力できます。
分子の変化範囲は最初のステップは1～9、2ステップ以降は0～9です。分子が0の場合、そこから先のステップには進みません。分母の変化範囲は4、8です。
5. [スタート/ストップ] ボタンを押して、メトロノームを開始/停止します。
鳴っているステップの位置がアンダーラインで表示されます。

保存/呼び出しのための特別な操作はありません。メモリを編集すると自動的に保存され、メモリ番号を選ぶと自動的に呼び出されます。設定は最大で8つ(M1～M8)まで保存されます。

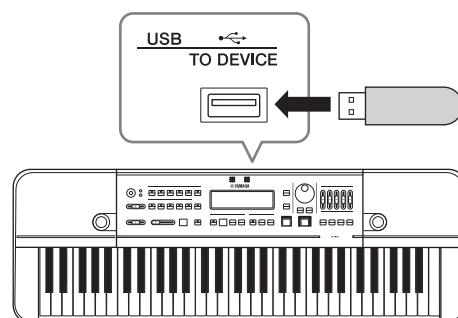
マイクを使って録音・再生する

基本の使い方

内蔵マイクまたは外部接続したマイクを使って、市販のUSBフラッシュメモリーに児童や生徒の歌や声を録音し、その場で聴くことができます。録音には通常録音と、気になった部分から最大10秒手前にさかのぼって録音開始できる「タイムシフト録音」の2種類があります。また、各録音結果はファイルとして保存されるので、[USB]ボタンのメニューから後で再生することもできます。

ご注意

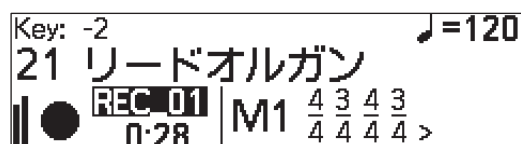
- 録音機能を使うときは、電源アダプターをお使いください。
- 録音機能を使うときは、USBフラッシュメモリーの接続が必要です。USBフラッシュメモリーの接続については、30ページをご覧ください。
- 「メディアを認識中...」「書き込み中...」「準備しています...」などのメッセージが表示されている間は、USBフラッシュメモリーの抜き差しを行わないでください。本製品の機能が停止したり、USBフラッシュメモリーやデータが壊れたりするおそれがあります。
- この録音機能では、鍵盤で演奏する際のMIDI情報を記録することはできません。



マイク感度の調整

音割れなどを防ぐため、録音する前にマイク感度を調節してください。

- 別売の外部マイクを使う場合は、MIC [INPUT]端子にマイクを接続します。(30ページ)
- 録音したい音が聴こえている状態で、MIC [GAIN]ノブを回して、マイク感度を調節します。
液晶ディスプレイ左下に2本のバーが表示され、ステレオマイクの左右から拾った音の大きさがそれぞれ表示されます。

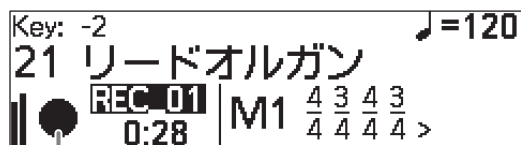


録音したい音が一番大きいときでもパネル左上にあるマイク音量表示LEDが点灯しない、または画面上に「Clip!」が表示されないようにMIC [GAIN]ノブで感度を調節してください。

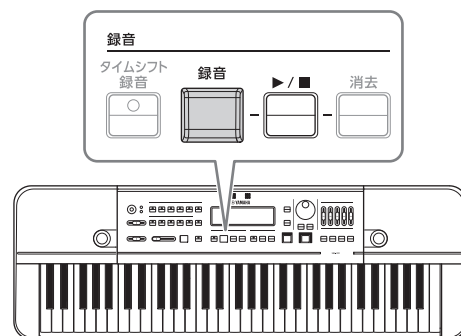
感度を上げすぎると、上限を超えて音が割れたり、音質が悪くなったりするおそれがあります。

録音/再生

録音する



録音中を示す状態



[録音]ボタンで録音を開始します。自動的に新しいファイル名で録音されます。
[録音]または[▶/■]ボタンで録音を停止します。

直前の録音結果を再生する

録音直後の場合、簡単な操作で結果を再生できます。
[-]/[+]ボタンでファイルを選択し、[▶/■]ボタンで再生/停止します。

NOTE

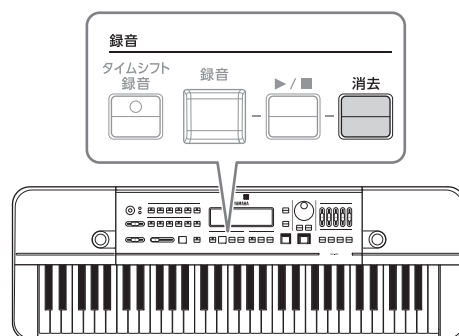
- カーソルが録音番号から外れているときは、[▶/■]ボタンでカーソルをファイル名に移動できます。
- 録音番号が一度リセットされた場合(タイムシフト録音との切り替えや電源の入れ直しなどで、記録フォルダーが変更された場合)は、この操作では選択や再生ができなくなります。過去の録音結果を再生する場合は、[USB]ボタンを押して過去の録音ファイルを選び、再生します(27ページ)。

直前の録音結果を消去する

録音直後の場合、不要な録音結果を消去できます。
[-]/[+]ボタンでファイルを選択し、[消去]ボタンを押します。表示される確認メッセージに従って、キャンセルまたは消去を実行します。

NOTE

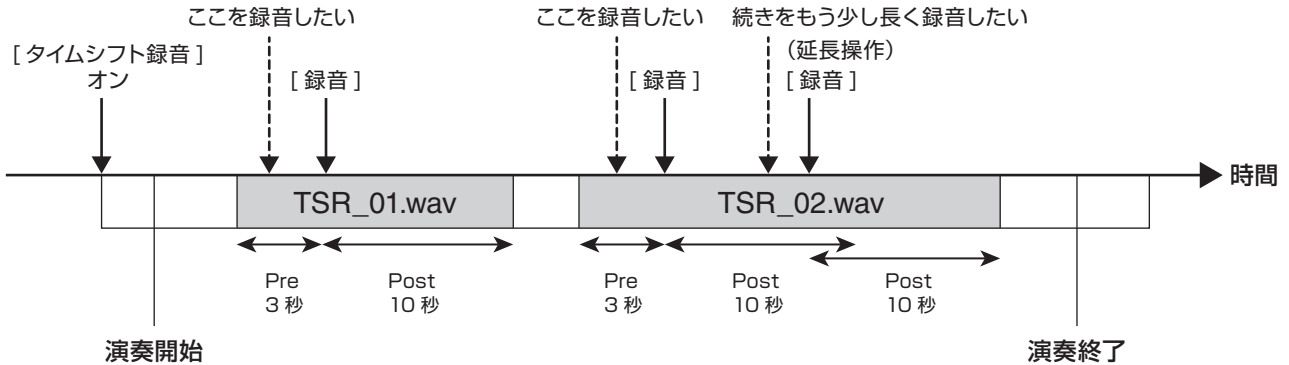
- カーソルが録音番号から外れているときは、[▶/■]ボタンでカーソルをファイル名に移動できます。
- 画面移動や電源の入れ直しなどで録音番号の表示が消えている場合は、録音結果は過去のデータ扱いになり、本製品上で消去することはできません。過去のファイルについて消去したい場合は、コンピューター上などで行ってください。



気になった箇所の前後を録音する(タイムシフト録音)

タイムシフト録音を使うと、録音したい箇所に気づいてから[録音]ボタンを押して、最大10秒前の時点から録音を開始できます。

■ タイムシフト録音の例



■ タイムシフト録音の操作方法

1. [タイムシフト録音]ボタンを押して、タイムシフト待機の状態にします。

画面に「Ready」と表示されます。

2. 演奏を開始します。

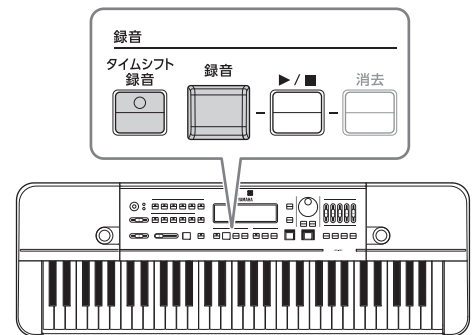
3. 演奏中で「ここを録音したい」と思ったときに、[録音]ボタンを押します。

設定された秒数前(3~10秒前)から録音が始まります。

4. 録音時間を延長する場合は、再度[録音]ボタンを押します。

5. [録音]ボタンを押してから何も操作しないと、設定された秒数(5~20秒)が経過した後に自動的に録音を終了します。

時間の経過を待たず、すぐに録音を終了させたい場合は、[▶/■]ボタンを押します。



NOTE

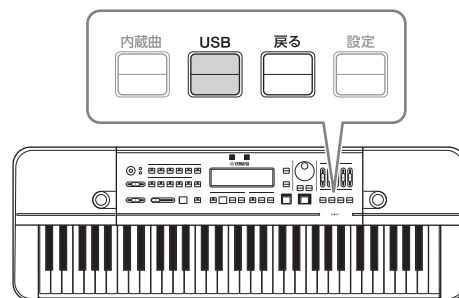
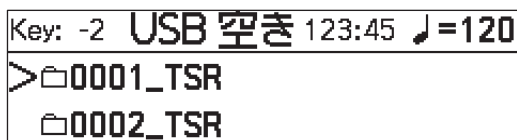
- 以下の時間の長さは、設定画面で変更できます。詳しくは28ページをご覧ください。
 - ・手順3で録音開始時にさかのぼる秒数「TS録音 さかのぼり」
 - ・手順5で自動的に録音終了するまでの秒数「TS録音 経過時間」
- タイムシフト録音結果の再生方法は、通常の録音の場合と同じです。「直前の録音結果を再生する」(25ページ)をご覧ください。

過去の録音ファイルや、コンピューターで作成したファイルの再生 (USB)

USBフラッシュメモリーに保存された過去の録音結果や、コンピューターで作成したオーディオファイル、MIDIファイルなどを選択・再生できます。

USBファイルの選択や再生

[USB]ボタンを押してUSBファイル選択画面を開きます。



■ [USB]ボタンを押した後の操作方法

| | |
|-----------------|---------------------------|
| フォルダー、ファイルの選択 | [−]/[+]ボタン、ダイヤル |
| フォルダー決定(階層を下がる) | [スタート/ストップ]ボタン、カーソル[▶]ボタン |
| 階層を上げる | [戻る]ボタン、カーソル[◀]ボタン |
| ファイルの再生/停止 | [スタート/ストップ]ボタン |

NOTE

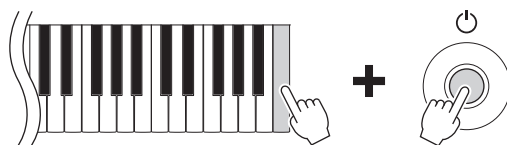
- SEK-300での過去の録音結果は、USBフラッシュメモリーのルート直下に、古い順に「****_REC/TSR」のフォルダー名で保存されています。****は0001～9999の番号で、通常録音の場合はREC、タイムシフト録音の場合はTSRです。
- 対応フォーマットはWAV (44.1 kHz、16ビット、ステレオ)、MIDI (SMF: スタンダードMIDIファイル)です。
- MIDI規格については、GM (General MIDI)、XGliteに対応しています。
- 既存データの削除は本製品ではできません。再生以外のファイル操作は、コンピューター上などで行ってください。

USBファイル選択モードから抜けるには、最上位階層で[戻る]ボタンを押します。

また、[拍子]ボタン、[リズムスタイル]ボタンを押すと、再生が停止し、USBファイル操作画面を抜けてホーム画面に戻ります。

工場出荷時の設定に戻す

鍵盤の最高音(白鍵)を押したまま、[⏻](オン/スタンバイ)スイッチを押して電源を入れると、液晶ディスプレイに「バックアップクリア」と表示され、SEK-300のすべての設定が初期状態に戻ります。



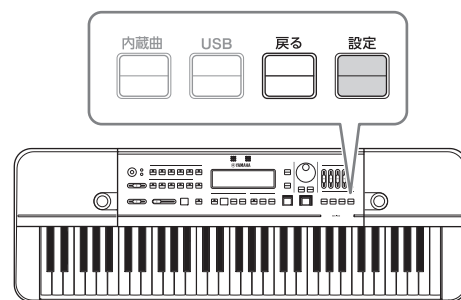
初期化を行うと、拍子・テンポメモリはすべて消去されますので、あらかじめメモなどに記録しておくことをお勧めします。

各種詳細設定をする(設定)

設定画面で、各機能の詳細設定を変更できます。

[設定]ボタンで設定画面を呼び出します。[戻る]ボタンで画面から抜けます。

[◀][▶]ボタンで項目を選択し、[-]/[+]ボタン、またはダイヤルで値を変更します。[-][+]ボタンを同時に押すと、選択中の項目が初期値に戻ります。



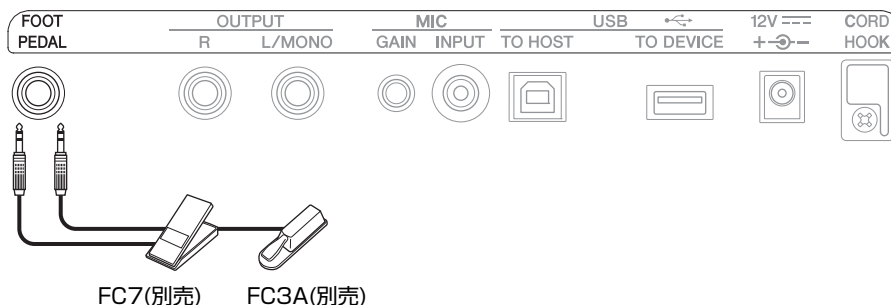
設定画面の項目は、下記の表の通りです。

| 表示名 | 説明 | | 設定値 |
|-------|------------|---|-------------------|
| 設定1/5 | メトロノーム音色 | メトロノームで鳴らす音色を設定します。 | ベック、クリック、ピーブ |
| | メトロノーム形式 | メトロノームの各音符がすべて重なって鳴るか、交互に鳴るかを設定します。 | すべて・交互 |
| 設定2/5 | 基準ピッチ | 本製品の基準ピッチを設定します。 | 430.0 Hz~450.3 Hz |
| | LCDコントラスト | 液晶ディスプレイの見やすさを調整できます。 | 0~20 |
| 設定3/5 | TS録音 さかのぼり | タイムシフト録音でさかのぼりたい時間を設定します。 | 3秒~10秒 |
| | TS録音 経過時間 | 録音ボタンを押してから、タイムシフト録音が自動的に停止するまでの時間を設定します。 | 5秒~20秒 |
| 設定4/5 | Bluetooth | Bluetooth機能のオンオフや、ペアリングを切り替えます。 | オン・オフ・ペアリング |
| | BDアドレス(*) | 本製品のBluetoothデバイスとしてのMACアドレスを表示します。 | — |
| 設定5/5 | オートパワーオフ | 本製品が一定時間操作されないと自動的に電源が切れる機能です。自動的に電源が切れるまでの時間は、使用する電源の種類によって異なります。電池を使っている場合は30分、電源アダプターを使っている場合は2時間です。 | 無効・有効 |
| | バージョン(*) | 本製品のファームウェアのバージョンを表示します。 | — |

(*)液晶ディスプレイの表示のみで、設定はできない項目です。

外部機器を接続する

ペダルを使う ([FOOT PEDAL]端子)

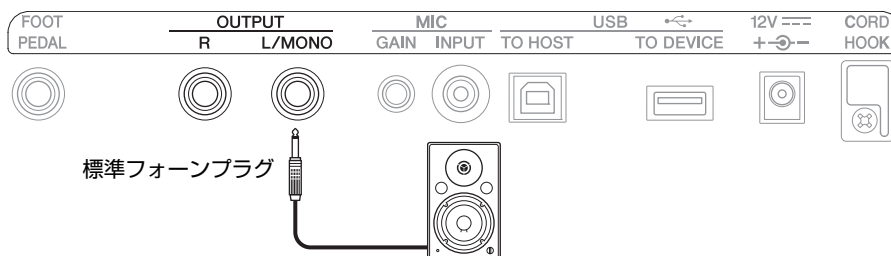


本製品にフットコントローラー (FC7、別売)やフットペダル(FC3A、別売)を接続します。フットコントローラーはエクスペッションペダル、フットペダルはサステインペダルとして使えます。フットペダルFC3Aをお使いになる際は、必ず[サステインペダル接続]ボタンをオンにしてください。

NOTE

- FC4AやFC5などスイッチ方式のペダルは使用できません。
- プラグの抜き差しは、電源を切った状態で行ってください。

別売のアンプなどを接続する(OUTPUT [L/MONO]、[R]端子)



OUTPUT端子に、アンプ内蔵のスピーカーを接続します。

モノラルで接続する場合は[L/MONO]端子のみに、ステレオで接続する場合は[L/MONO]端子、[R]端子それぞれに接続します。外部機器を接続すると、自動的に本製品のスピーカーからは音が出なくなります。

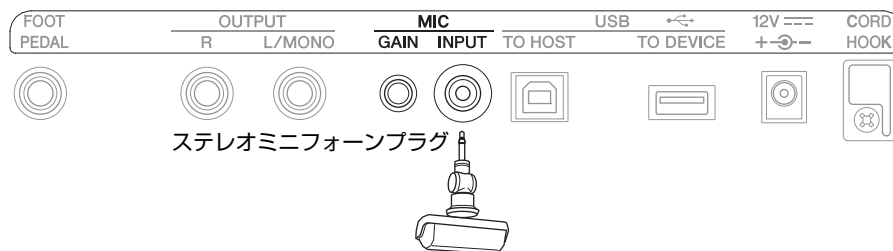
⚠ 注意

外部機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った上で行ってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず本製品の音量を最小にしてください。感電または機器の損傷のおそれがあります。

ご注意

本製品の音を外部機器に出力するときは、最初に本製品、次に外部機器の順に電源を入れてください。電源を切るときはこの逆の順で行ってください。機器の損傷の原因になります。

別売のマイクを接続する(MIC [INPUT]端子、MIC [GAIN]ノブ)



MIC [INPUT]端子に、市販の外部マイクを接続します。

市販のマイクは、ステレオミニフォン端子、プラグインパワー対応のものをお使いください。外部マイクを接続すると、内部マイクは自動的に無効になります。

NOTE

外部マイク接続中は、MIC [GAIN]ノブは外部マイクの音量を調節します。

USBフラッシュメモリーを接続する(USB [TO DEVICE]端子)

ご注意

- USBフラッシュメモリーを使う前に、必ず9ページの「USB [TO DEVICE]端子ご使用上の注意」をお読みください。
- 「メディアを認識中...」「書き込み中...」「準備しています...」などのメッセージが表示されている間は、USBフラッシュメモリーの抜き差しを行わないでください。本製品の機能が停止したり、USBフラッシュメモリーやデータが壊れたりするおそれがあります。

本製品にUSBフラッシュメモリーを接続すると、録音/再生機能(25ページ)を使うことができます。

動作確認済みのデバイスリストについては、下記ウェブサイトから入手できます。「SEK-300」と入力して、検索してください。

https://jp.yamaha.com/support/docs_data/

NOTE

USBフラッシュメモリーのフォーマットは、本製品ではできません。フォーマットが必要な場合は、コンピューター上でFAT32形式でフォーマットしてください。

コンピューターと接続する(USB [TO HOST]端子)

USB [TO HOST]端子を使ってコンピューターと接続すると、オーディオ信号とMIDI信号をコンピューターとやりとりできます。SEK-300の音を高音質データで録音したり、コンピューターからMIDIメッセージを送信してSEK-300をコントロールしたりできます。

NOTE

USB [TO HOST]端子でコンピューターと接続する前に、必ず9ページの「USB [TO HOST]端子ご使用時の注意」をお読みください。

事前準備

■ Windows

Windowsの場合、専用のUSBドライバー「Yamaha Steinberg USB Driver」が必要です。下記ウェブサイトからドライバーをダウンロードし、コンピューターにインストールしてください。

サポート・お問い合わせ: <https://jp.yamaha.com/support/>

* 「ソフトウェア」を選択し、カテゴリーに「共通」をセットして、「Steinberg」と入力して検索してください。

動作環境については、上記ウェブサイトでご確認ください。

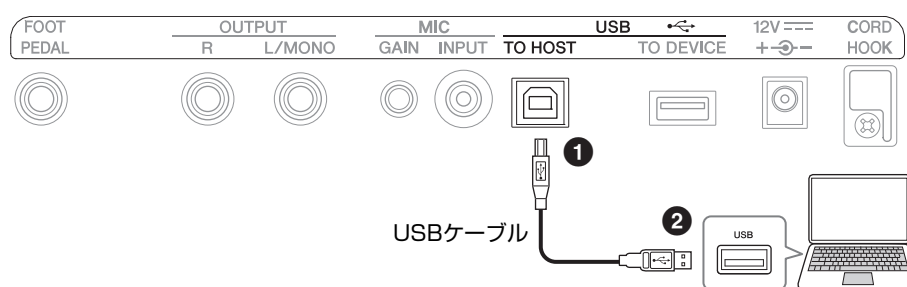
インストール方法、およびコンピューターの設定については、ダウンロードファイルに付属のインストールガイドを参照してください。

■ Mac

macOSに用意されている標準ドライバーを使いますので、ドライバーのインストールは必要ありません。

接続方法

1. 本製品の電源を切ります。
2. コンピューターを起動します。
コンピューター上のアプリケーションは、すべて終了してください。
3. 本製品のUSB [TO HOST]端子にUSBケーブルを接続し、次にコンピューターにUSBケーブルを接続します。



4. 本製品の電源を入れます。
コンピューターと本製品との間で通信ができるようになります。

NOTE

USBケーブルを使って接続する場合は、ABタイプのものでご使用ください。また、3メートル未満のケーブルをご使用ください。USB 3.0ケーブルは、使用できません。

コンピューターとつなぐとできること(一例)

■ 演奏情報(MIDIデータ)を送受信する

- MIDIデータの曲を再生するコンピューターでMIDIファイルを再生し、本製品で鳴らすことができます。
- 演奏をMIDIデータとして録音するMIDIデータとして記録すると、音楽制作ソフトで音色や音の高さなどを編集できます。
- 音楽制作ソフトや楽譜作成ソフトでデータを入力するためのキーボードとして使えます。本製品の鍵盤を使って、音楽制作ソフトの打ち込みや、楽譜作成ソフトの音符の入力ができます。

■ オーディオデータをデジタルで送受信する

- オーディオデータを高音質で再生する音質の劣化が少なくクリアな音質で楽しめます。
- 録音ソフトや音楽制作ソフトで、本製品の演奏をオーディオデータとして録音できます。また、録音したオーディオデータはコンピューターやスマートデバイスで再生できます。練習用音源を作成できます。

スマートデバイス上で再生するオーディオをSEK-300で鳴らす (Bluetooth)

スマートデバイスと Bluetooth 経由で接続すると、スマートデバイスで再生したオーディオを本製品で鳴らすことができます。



注意

楽曲を再生する前に、スマートデバイス側の音量を調整してください。聴力障害または機器の損傷の原因になります。

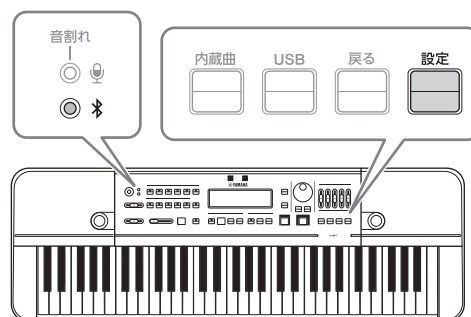
NOTE

本製品の出力をBluetoothスピーカーで鳴らす接続はできません。

初回の接続

初めてスマートデバイスと本製品をBluetooth接続するときは、最初にペアリングする必要があります。
次の手順でペアリングを実施します。

1. 本製品の[設定]ボタンを押して設定画面を開きます。
2. 「Bluetooth」を「Pairing」にします。
本製品がペアリング待機状態になり、Bluetooth表示LEDが点滅します。
3. スマートデバイスからBluetoothデバイスを検索し、「SEK-300 *****」(*****はBD Address)を選択します。
ペアリングが完了して、通信できるようになります。
Bluetooth表示LEDが点灯状態になります。
設定画面の「Bluetooth」が「On」になります。



二回目以降の接続

ペアリング済みのデバイスと接続するときは、以下のタイミングで自動的に再接続します。

- 本製品の電源を入れたとき
- 設定画面の「Bluetooth」を「Off」から「On」にしたとき

接続が完了して通信できる状態になると、Bluetooth表示LEDが点灯します。

エラーメッセージについて

液晶ディスプレイにエラーの内容が表示されます。次の表で内容を確認し、必要に応じて処置を行ってください。

| 表示内容 | 原因 | 解決法 |
|-------------|---|---|
| 電池が消耗しています | 電池の残量が少ない。 | 乾電池を6本すべて交換してください。 |
| バックアップエラー | 設定の読み込みでエラーが発生した。 | 電源を切る際、画面の表示が消えるまで電源アダプターや電池を抜かないでください。 |
| MIDIエラー | MIDIデータの送受信でエラーが発生した。 | コンピューターとの接続を確認してください。 |
| アップデートエラー | アップデート時にエラーが発生した。 | 一度電源を切り、入れ直してください。(14、15ページ) |
| 再起動してください。 | 本製品の再起動が必要になった。 | |
| ファイルオープンエラー | ファイルの読み込みでエラーが発生した。 | USB機器の接続と、機器の内容データを確認してください。 |
| ファイルリードエラー | | |
| ファイルクローズエラー | | |
| ファイルライトエラー | ファイルの書き込みでエラーが発生した。 | USB機器の接続と、機器の内容データ、ライトプロテクトの状態を確認してください。 |
| USBメモリを接続 | USB機器が接続されていない。 | USB機器を接続してください。(30ページ) |
| 録音できません。 | USB機器がライトプロテクトされている。 | USB機器のライトプロテクトの状態を確認してください。 |
| 再生できません。 | ファイルの再生に失敗した。 | USB機器の接続、機器の状態と内容データを 確認してください。 |
| 失敗しました | ファイル削除に失敗した。 | |
| USB機器エラー | USB機器へのアクセスでエラーが発生した。 | |
| システムファイルエラー | システムファイルへのアクセスでエラーが発生した。 | |
| ファイルエラー | ファイルへのアクセスでエラーが発生した。 | |
| ディスクフルエラー | 録音中にデータサイズがUSB機器の残容量を 超えそうになった。 ファイル書き込み中に、USB機器の残容量が 足りなくなった。 | コンピューター上で、USB機器内の不要な ファイルを削除してください。 |
| ファイルが大きすぎます | 選択したファイルのサイズが大きすぎたため、 読み込みに失敗した。 | ファイルのサイズを小さくしてください。 |
| USB機器接続エラー | USB機器の接続に失敗した。 | USB機器の状態を確認して、機器を接続し直 してください。 |
| USB機器過電流エラー | USB機器に異常な電流が流れた。(USB機器が 故障している。) | USB機器を抜き、他のUSB機器を使用してく ださい。 |
| フォーマットエラー | 未フォーマットのUSB機器が接続された。 | USB機器のフォーマットを確認してください。 本製品はFAT32形式のみ対応しています。 |

故障かな？と思ったら

故障ではないかと思いいなったら、下記の事項をご確認ください。それでも正常に作動しない、あるいは下記以外の何か異常が認められた場合は、[Ⓛ](オン/スタンバイ)スイッチを長押しして電源をオフにし、電源アダプター本製品をコンセントから外して、ご購入店または、最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点までお問い合わせ、サービスをご依頼ください。

| 現象 | 原因 | 解決法 |
|--|---|---|
| 電源が入らない。 | 電源アダプターが接続されていない。 | 電源アダプターを本製品と家庭用(AC100V)コンセントに、確実に接続してください。(13ページ) |
| 本製品から雑音が出る。 | 本製品の近くで携帯電話を使った。 | 本製品の近くに携帯電話を置かないでください。 |
| ラジオやテレビなどに雑音が入るときがある。 | 本製品の近くにラジオやテレビを置いてある。 | ラジオやテレビはなるべく本製品から離してお使いください。 |
| 全体的に音が小さい。または、まったく音が出ない。 | 音量設定が下がっている。 | [全体音量]スライダーで音量を上げてください。 |
| | 外部アンプを接続しており、外部アンプの音量が最小になっている。 | 外部アンプの音量を上げてください。 |
| 音が割れる。共鳴する。ビリつく。 | 音量を上げすぎたため、本製品や周囲の器物に共鳴した。 | 音量を下げてください。共鳴物を取り除いてください。 |
| | 定格出力が小さいスピーカーを使用している。 | 定格出力の大きなスピーカーを使用してください。 |
| 一瞬音が途切れる。 | 音量を上げすぎたため、保護回路が作動した。 | 音量を下げてください。 |
| 液晶表示が見にくい。 | コントラストの設定が合っていない。 | 「LCDコントラスト」の設定値を調節してください。(16ページ) |
| 録音データを消去できない。 | 本製品に録音直後のデータ以外を消去する機能がない。 | コンピューターにUSBフラッシュメモリーを接続して、ファイルの消去を行ってください。 |
| USB機器との通信が止まる。 | 非対応のUSB機器を使っている。 | 使用できるUSB機器をご確認ください。(9ページ) |
| USB記憶装置の動作が不安定になっている。 | USB機器との通信処理でエラーが起きている。 | USBフラッシュメモリーをいったん外し、6秒以上待ってから接続し直してください。 |
| スマートデバイスとBluetooth接続したが、オーディオ再生音が本製品から出ない。 | 距離が離れすぎている。 | スマートデバイスと本製品を近づけてください。 |
| | 接続に失敗している。 | 本製品の電源を入れ直してください。 |
| | | スマートデバイスを再起動してください。 |
| 鍵盤を弾いても音が出ない。 | [バランス]スライダーが右端に設定されている。 | [バランス]スライダーを中央に設定してください。(16ページ) |
| | [FOOT PEDAL]端子に接続しているフットコントローラーFC7の調節位置が最小になっている。 | FC7のペダルを音が出る位置に調節してください。 |
| 内蔵曲やUSBフラッシュメモリー内のMIDIファイルを再生しても音が出ない。 | すべての[メトロノーム音量/パート音量]スライダーが最小まで下がっている。 | [メトロノーム音量/パート音量]スライダーを上げてください。 |
| | [バランス]スライダーが左端に設定されている。 | [バランス]スライダーを中央に設定してください。(16ページ) |
| メトロノームの音が出ない。 | すべての[メトロノーム音量/パート音量]スライダーが最小まで下がっている。 | [メトロノーム音量/パート音量]スライダーを上げてください。 |
| リズムスタイルやメトロノームの音が出ない。 | [バランス]スライダーが左端に設定されている。 | [バランス]スライダーを中央に設定してください。(16ページ) |

仕様

| | | SEK-300 |
|---------------|-----------|--|
| 品名 | | 電子キーボード |
| 音源および 同時発音 | 音源方式 | AWM |
| | 最大同時発音数 | 48 |
| 鍵盤 | | 61鍵(タッチレスポンスあり) |
| パネル操作子 | | 押しボタン(タクタイルスイッチ)、スライダー、ダイヤル |
| ディスプレイ | | 液晶(コントラスト調整可能) |
| 音色 | | 576音色(128パネル音色+11ドラムキット+437 XGlite音色他) |
| メトロノーム | | テンポ: 32~280 (4分音符基準の場合)、タップテンポ入力機能 基準音符: 8分音符、4分音符、符点4分音符 テンポメモリ: 8メモリ、最大8ステップ/1メモリ 音符別音量調節(5スライダー) メトロノーム音選択(ベック、クリック、ピープ) メトロノームパターン(すべて、交互) |
| リズムスタイル | | 10リズムスタイル |
| 録音 | | マイク: 内蔵マイク、または市販の外部接続マイク 最大録音時間: 1曲につき80分(約0.9 GB) フォーマット: WAV (44.1 kHz、16ビット、ステレオ) タイムシフト録音機能: ○ |
| 再生 | | フォーマット: WAV (44.1 kHz、16ビット、ステレオ)、MIDI (SMF: スタンダードMIDIファイル、GM (General MIDI)・XGlite対応) MIDIパート別音量調節機能: 1パート~4パート+その他パート |
| 内蔵曲 | | 学習指導要領の共通教材32曲 |
| その他設定 | | メッセージ表示言語(日本語) |
| 外部入出力端子 | | DC IN 12V [FOOT PEDAL] (FC3A (別売)、FC7 (別売)) OUTPUT [L/MONO]、[R] (モノラル標準フォーン端子 × 2) MIC [INPUT] (ステレオミニフォーン端子、プラグインパワー) USB [TO HOST]、[TO DEVICE] |
| Bluetooth | | Bluetoothバージョン: 4.2 対応プロファイル: A2DP 機能: Bluetooth Audio、MIDI over BLE 無線出力: Bluetooth Class 2 最大通信距離: 約10m 無線周波数(動作周波数): 2,402~2,480 MHz 最大出力電力: 6dBm 変調方式: GFSK、 $\pi/4$ DQPSK、8 DPSK |
| パワーアンプ | | 3.0 W + 3.0 W |
| スピーカー | | 12 cm (6 Ω) × 2 |
| 電源 | 定格電源 | 電源アダプター: PA-150B、またはヤマハ推奨の同等品(出力: DC 12 V、1.5 A) 電池: 単3電池(アルカリ電池/充電式ニッケル水素電池) × 6 (別売) |
| | 消費電力 | 9 W (電源アダプター PA-150B使用時) |
| オートパワーオフ | | ○ |
| 電池寿命 | | 約4.5時間(※)(アルカリ電池/充電式ニッケル水素電池使用時) ※連続使用時。使用状況により異なる |
| サイズ/質量 | 幅×奥行き×高さ | 940 mm × 317 mm × 106 mm |
| | 質量(本製品のみ) | 4.0 kg (電池を含まず) |
| 付属品 | | 取扱説明書(本書)、クイックガイド、製品登録のご案内、電源アダプター |

本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。取扱説明書の最新版につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

データリスト

リズムスタイルリスト

| 名前 | テンポ | 拍子 | 小節数 |
|--------|-----|-----|-----|
| 8ビート | 124 | 4/4 | 4 |
| 16ビート | 120 | | 2 |
| シャッフル | 125 | | |
| スウィング | 118 | | |
| マーチ | 116 | | |
| 6/8マーチ | 132 | 6/8 | 4 |
| ワルツ | 140 | 3/4 | |
| サンバ | 104 | 4/4 | 2 |
| ビギン | 112 | | |
| チャチャチャ | 130 | | |

内蔵曲リスト

| カテゴリー | 曲名 |
|-------|----------|
| 第1学年 | うみ |
| | かたつむり |
| | 日のまる |
| | ひらいたひらいた |
| 第2学年 | かくれんぼ |
| | 春がきた |
| | 虫のこえ |
| | 夕やけこやけ |
| 第3学年 | うさぎ |
| | 茶つみ |
| | 春の小川 |
| | ふじ山 |
| 第4学年 | さくらさくら |
| | とんび |
| | まきばの朝 |
| | もみじ |

| カテゴリー | 曲名 |
|-------|----------|
| 第5学年 | こいのぼり |
| | 子もり歌 |
| | 子もり歌(都節) |
| | スキーの歌 |
| | 冬げしき |
| 第6学年 | 越天楽今様 |
| | おぼろ月夜 |
| | ふるさと |
| | われは海の子 |
| 中学校 | 赤とんぼ |
| | 荒城の月 |
| | 早春賦 |
| | 夏の思い出 |
| | 花 |
| | 花の街 |
| 浜辺の歌 | |

YAMAHA [School Educational Keyboard]
Model SEK-300 MIDI Implementation Chart

Date: 01-Aug-2023
Version: 1.00

| Function... | Transmitted | Recognized | Remarks |
|---|---|--|---|
| Basic Channel Default Changed | 1 - 16 X | 1 - 16 X | |
| Mode Default Messages Altered | 3 X ***** | 3 X X | |
| Note Number : True voice | 0 - 127 ***** | 0 - 127 0 - 127 | |
| Velocity Note On Note Off | 0 9nH, v=1-127 X | 0 9nH, v=1-127 X | |
| After Touch Key's Ch's | X X | X X | |
| Pitch Bend | X | 0 | |
| Control Change | 0,32 O 1 X 6 X 38 X 7 O 10 X 11 O 64 O 71-74 X 84 X 91,93 O 96,97 X 100,101 X | O O O O O O O O O O O O O | Bank Select Modulation Data Entry (MSB) Data Entry (LSB) Main Volume Pan Expression Sustain Sound Control Portamento Control Effect Depth RPN Inc, Dec RPN LSB, MSB |
| Prog Change : True # | 0 0 - 127 ***** | 0 0 - 127 | |
| System Exclusive | 0 | 0 | |
| : Song Pos. Common : Song Sel. : Tune | X X X | X X X | |
| System : Clock Real Time: Commands | O O | O O | |
| : All Sound Off Aux : Reset All Cntrls : Local On/Off Mes- : All Notes Off sages: Active Sense : Reset | X X X X O X | O (120,126,127) O (121) O (122) O (123-125) O X | |
| Notes: | | | |

Mode 1 : OMNI ON , POLY
Mode 3 : OMNI OFF, POLY

Mode 2 : OMNI ON ,MONO
Mode 4 : OMNI OFF,MONO

O : Yes
X : No

保証とアフターサービス

保証書

- 本書に保証書が掲載されています。購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)とあわせて、大切に保管してください。
- 必要事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

アフターサービス

万一不具合が起きたときは、まず、取扱説明書をもう一度お読みになり、原因を調べてください。それでも具合が悪いときは、お買い上げの販売店、または右記窓口にご相談ください。

● 保証期間中の修理について

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理について

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。有寿命部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

有寿命部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ドラムパッドなど

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

ご相談窓口のご案内

製品の機能や取り扱いについては、最寄りのヤマハ特約楽器店、または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

◆ お客様コミュニケーションセンター 管弦打楽器ご相談窓口

ナビダイヤル(全国共通番号)
0570-013-808
ナビダイヤル® ※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

ホームページ：<https://jp.yamaha.com/support/>

受付時間： 月曜日～金曜日 10:00～17:00
(土日・祝日・センター指定定休日を除く)

修理に関するお問い合わせ

◆ ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル(全国共通番号)
0570-012-808
ナビダイヤル® ※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

上記番号でつながらない場合は、下記番号におかけください。

053-460-4830

受付時間： 月曜日～金曜日 10:00～17:00
(土日・祝日・センター指定定休日を除く)

◆ 修理品お持込み窓口

東日本サービスセンター

〒143-0006
東京都大田区平和島2-1-1
JMT京浜E棟A-5F

西日本サービスセンター

〒556-0011
大阪府大阪市浪速区難波中1丁目13-17
ナンバ辻本ビル 7F

受付：月曜日～金曜日 10:00～17:00
(土日・祝日・センター指定定休日を除く)

* サービスセンターへの電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

持込修理

保証書

(This warranty is valid only in Japan.)

本書は、保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参のうえ、前ページの「修理に関するお問い合わせ」に記載のお問い合わせ先にご依頼ください。ご依頼の際は、購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)をあわせてご提示ください。

| | | | |
|---------|-----------------|------|-------------|
| 品名/品番 | 電子キーボード SEK-300 | 製造番号 | |
| ※お買い上げ日 | 年 月 日 | 保証期間 | お買い上げ日より1年間 |
| お客様 | ご住所 | 〒 | |
| | お名前 | 様 | |
| | お電話 | () | |
| ※販売店 | 店名 | | |
| | 所在地 | 印 | |
| | 電話 | () | |

ご販売店様へ ※欄は必ずご記入してお渡してください。

*ご記入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの個人情報は、本保証規定に基づく無料修理に関する場合のみ使用致します。取得した個人情報は適切に管理し、法令に定める場合を除き、お客様の同意なく第三者に提供することはありません。

保証規定

- 1 正常な使用状態(取扱説明書、本製品貼り付けラベルなどの注意書に従った使用状態)で故障した場合には、お買上げの販売店が無料修理を致します。
- 2 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合は、お買上げの販売店に商品と本書をご持参のうえご依頼ください。
- 3 ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げ販売店にご依頼できない場合には、前ページのヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 4 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 1. 本書のご提示がない場合。
 2. 本書のお客様欄に記入がない場合、本書または購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)にお買上げの年月日および販売店の記入がない場合、ならびに字句を書き換えられた場合
 3. 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
 4. お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 5. 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 6. お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
- 5 この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 6 この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

*この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店または前ページのヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。

株式会社ヤマハミュージックジャパン 管弦打営業部
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11

